

平成 29 年度

社会福祉法人大阪市西淀川区社会福祉協議会 事業報告 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

1 法人運営の強化

(1) 組織の強化

①理事会・評議員会の開催

(ア) 理事会

[平成 29 年 5 月 29 日] 11 名出席

- ・平成 28 年度事業報告 (案) について
- ・平成 28 年度決算報告 (案) について
- ・定款の一部変更 (案) について
- ・諸規程の一部改正 (案) について
- ・理事・監事の推薦について
- ・定時評議員会の開催について

[平成 29 年 6 月 29 日] 14 名出席

- ・会長・副会長の選任について

[平成 29 年 11 月 22 日] 13 名出席

- ・生活支援体制整備事業の実施について
- ・定款の一部改正 (案) について
- ・経理規程の一部改正 (案) について
- ・平成 29 年度補正予算 (案) について
- ・就業規則の改正 (案) について
- ・大阪市生活困窮者自立相談支援事業の公募について
- ・評議員会の開催につて

[平成 30 年 3 月 20 日] 11 名出席

- ・定款変更 (案) について
- ・平成 29 年度補正予算 (案) について
- ・平成 30 年度事業計画 (案) について
- ・平成 30 年度事業予算 (案) について
- ・諸規程の改正 (案) について
- ・介護予防支援事業における資産の運用 (案) について
- ・評議員の開催について
- ・会長職務執行状況報告書について

(イ) 評議員会

[平成 29 年 6 月 20 日] 28 名出席

- ・平成 28 年度事業報告（案）について
- ・平成 28 年度決算報告（案）について
- ・定款の一部変更（案）について
- ・諸規程の一部改正（案）について
- ・理事・監事の選任について

[平成 29 年 11 月 30 日] 26 名出席

- ・生活支援体制整備事業の実施について
- ・定款の一部改正（案）について
- ・平成 29 年度補正予算（案）について
- ・大阪市生活困窮者自立相談支援事業の公募について

[平成 30 年 3 月 27 日] 25 名出席

- ・定款変更（案）について
- ・平成 29 年度補正予算（案）について
- ・平成 30 年度事業計画（案）について
- ・平成 30 年度事業予算（案）について
- ・諸規程の改正（案）について

②会員組織の充実と会員の募集・拡充

現会員に引き続き周知し、賛助会員へもイベント等を通じて募集を行い、新規会員の拡充に努めた。

組織構成会員	14 団体	
賛助会員	10 団体	17 人

（２）善意銀行の運営

住民の善意を福祉向上に役立てるために善意銀行を運営し、区内の住民等への情報発信、啓発活動を実施した。また、善意銀行運営委員会を開催し、各申請団体に対し助成を行った。

善意銀行運営委員会の開催

[平成 29 年 5 月 29 日]

- ・平成 28 年度 善意銀行収支報告について
- ・平成 29 年度 善意銀行特定テーマ払出「福祉ボランティア活動応援資金」申請団体について
※10 団体に払出決定

[平成 29 年 12 月 5 日]

- ・歳末助け合い運動にかかる助成について
※1 団体に払出決定
- ・母子家庭への歳末見舞品贈呈事業に対する助成について
※1 団体に払出決定

（３）共同募金並びに日赤業務への連携・協力

①共同募金の有効な運用と運動への協力

大阪府共同募金会より平成 29 年度共同募金配分金（平成 28 年度募金による）として 2,361,029 円の配分を受け、区内福祉活動の充実を図るべく関係団体に配分すると共に、「区社協だより」を発行し広報啓発活動に取り組んだ。

また、平成 29 年 10 月 1 日～12 月 31 日の間、平成 29 年度（第 71 回）「赤い羽根共同募金運動」に街頭募金活動を行った。

- ・金婚夫婦お祝い品の贈呈（176 組）
- ・各地域社会福祉協議会
- ・区老人クラブ連合会
- ・区民生委員児童委員協議会
- ・区体育厚生協会
- ・区手をつなぐ親の会
- ・NPO 法人 にしよどにこネット
- ・特定非営利活動法人いきいき
- ・区障がい者地域自立支援協議会
- ・みてアート 2017（御幣島芸術祭）

平成 29 年度 西淀川区一般募金実績額 4,025,008 円

②日赤業務への協力

日本赤十字社大阪府支部並びに区奉仕団の社資募集業務等に協力した。

（４）広報啓発活動の推進

①社協活動の広報

（ア）区社協だよりの発行（年 2 回）

- ・平成 29 年 8 月 第 59 号発行
- ・平成 30 年 2 月 第 60 号発行

（イ）SNS の活用

ホームページ、フェイスブックにより、区社協事業等について、適時新たな情報や報告を掲載し、広報啓発活動の充実を図った。

（ウ）区社協キャラクター「ふくふ君」の活用

区社協をより身近に感じてもらい、気軽に相談してもらえるよう、新たなデザインを作成し、イベント等において区社協キャラクター「ふくふ君」による周知を実施した。

（エ）広報委員会の開催

各部署より広報担当を選出し、区社協事業の効果的な発信を検討するための「広報委員会」を毎月開催した。この広報委員会より、区社協啓発物品を作成し、啓発活動が広がった。

②区民まつりへの参加

[平成 29 年 9 月 16 日]

- ・区社協事業の広報活動（社協パンフ及び各事業チラシ 200 部の配布）
- ・社協の名前入り缶バッチの作成ブース及び「ちょいぼらおやじの会」と共に手作りおもちゃ作成ブースを出店

2 地域福祉活動の推進

（１）地域福祉活動の推進

①地域社会福祉協議会への支援

地域社協委員長会の開催

[平成 29 年 6 月 29 日]

- ・地域社協事業運営費等助成について
- ・金婚夫婦の調査について
- ・組織構成会費について
- ・地域社協名簿の提出について
- ・区社協の事業紹介について「地域における見守りネットワーク強化事業」

②地域福祉活動への支援

地域が展開する福祉の推進を目的とする活動へ参画し、活動状況の把握及び活動者への助言・指導等を行った。

- ・ふれあい型食事サービス活動への参画（55 回）
- ・ふれあい喫茶活動への参画（39 回）
- ・子育てサロン活動への参画および支援にかかる保育士派遣調整（16 回）
- ・地域活動協議会の福祉分野を含むまちづくり活動（納涼会・敬老会・運動会）への参画（26 回）

③地域福祉活動の促進

(ア) 地域福祉活動連絡会の開催

各地活協における地域福祉分野の活動を円滑かつ効果的に実施するための支援として、区役所と合同事務局を担い課題解決のための連絡会を開催した。

[平成 29 年 5 月 11 日]

- ・地域福祉活動について
テーマ：地域の福祉活動における「困りごと」解決のヒント Part1
講師：甲南女子大学准教授 鈴木大介さん

- ・地域福祉活動の情報共有

[平成 29 年 7 月 13 日]

- ・地域福祉活動について
テーマ：地域の福祉活動における「困りごと」解決のヒント Part2
講師：甲南女子大学准教授 鈴木大介さん

- ・地域福祉活動について

[平成 29 年 9 月 14 日]

- ・衛生講習会
テーマ：地域活動に役立つ衛生的知識
講師：サラヤ株式会社 山口正和さん

- ・グループワーク

テーマ：地域での活動で衛生的に気を付けていること

[平成 29 年 11 月 9 日]

- ・赤十字プログラム講習会
テーマ：身近な物を使った応急手当
講師：日本赤十字社大阪府支部 総務部総務課主事 藤原葉子さん

[平成 30 年 1 月 11 日]

- ・特殊詐欺について
テーマ：特殊詐欺についての寸劇
講師：大阪府警本部 生活安全課 指導班
テーマ：不審者に対する防犯訓練

講師：西淀川警察署 生活安全課 防犯係

[平成 30 年 3 月 8 日]

・地域福祉活動について

テーマ：平成 28 年高齢者への生活状況及び不安等に関するアンケートの結果について

講師：西淀川区地域包括支援センター 北田真知子

テーマ：地域の福祉活動における「困りごと」解決のヒント Part3

講師：甲南女子大学准教授 鈴木大介さん

(イ) 社会福祉講演会の開催

[平成 30 年 2 月 24 日] 212 人参加

第 1 部 講演会：「介護は突然やってくる その日のために」

講師：新田恵利さん

第 2 部 「知らないと損をする！ “西淀川㊟コミュニティ情報”

～居場所・趣味の場・コミュニティづくり～

(ウ) 地域支援システムの再構築及び専門部会・個別課題検討・各種会議への参画

- ・区要保護児童対策地域協議会、区障がい者・高齢者虐待防止連絡会、区障がい者地域自立支援協議会への参画（11 回）
- ・地域ケア会議（地域課題整理のための会議含む）への参画（8 回）
- ・地域支援システム等の検討や連絡調整会議への出席（4 回）

(エ) 区地域福祉推進ビジョン推進会議開催及び地域活動に関するアンケートの実施

地域福祉推進ビジョンの周知及び浸透を目的に、区役所と合同事務局を担い推進会議を開催。また区内における地域活動に関するアンケートを実施した。

- ・ビジョン推進会議の開催（8 回）
- ・アンケート依頼（5130 件）
- ・アンケート返答（1489 件）

④各種団体・関係機関・施設との連携・強化

(ア) 区社会福祉施設連絡会における総会、研修会及び全体会への参画

[平成 29 年 8 月 28 日]

総会

- ・平成 28 年度事業報告、決算報告について
- ・平成 29 年度事業計画、予算（案）について

研修会「エゴグラムで自分を知ろう（自己覚知）」

講師 TEAM-EXE ナカムラトモコ

[平成 30 年 1 月 22 日]

研修会：「災害時における社会福祉施設連絡会としての役割り」

～熊本地震での実態や課題をとおして防災を学ぶ～

講師：KZ 総合防災企画 黒田和伸さん

[平成 30 年 2 月 19 日]

基調講演「地域における公益的な活動実践から学ぶ」

講師：同志社大学社会学部教授 上野谷加代子さん

実践報告会：社会福祉法人 ライフサポート協会 石田信彦さん

社会福祉法人 大阪自彊館 ベラミ 青山典弘さん

社会福祉法人 四恩学園 中西裕さん

[平成 30 年 2 月 24 日]

社会福祉講演会の参加

(イ) 区子育て支援連絡会

区内における子育て支援にかかる活動の連携及び活性化を図ることを目的に、定例会議等を開催した。

- ・区子育て支援連絡会（12回）
- ・児童対象絵本展実行委員会（7回）
- ・子育てを応援する担い手育成・地域連携事業（防災カフェ）
- ・区子ども読書活動推進連絡会議（1回）

[平成29年12月2日・12月3日]

- ・乳幼児・児童対象「えほん展 ふわふわ」の共催

(ウ) ふくふくミニまつりの開催

[平成29年11月18日] 約500人参加

区社協事業をより多くの区民に知っていただくとともに、地域福祉に取り組む団体・関係機関と区民との交流やつながり作りの機会として開催。

(エ) まるごとネット

区内の子育て、子ども、障がい、高齢の各分野で活動している団体が集まり、各分野の情報共有及び横のつながりの強化を図る目的として開催。(2回)

⑤災害対策における学習会及び訓練の実施

災害発生時、区社協として災害対策本部の立ち上げや区災害ボランティアセンター、福祉避難所の開設、利用者の安否確認等の対応が求められる。

平成29年度も、行政や区内の福祉避難所との円滑な連携、災害時における区社協の役割の理解を深めるため意識的に取り組んだ。

また、社協職員の資質向上のために大阪府内の災害に関する学習会等研修、大阪市老人福祉施設連盟の取組による淀川区との区を越えての応援協定に参加した。

専門家を召集し、本会の防災体制の整備状況の評価を受け、今後の取り組みや整備すべき点を整理すると共に、水防法の平成29年度改正に伴う避難確保計画の作成にも速やかに対応した。

(ア)淀川区、西淀川区災害時連携応援協定にかかる訓練やワークショップ参加

[平成29年6月14日、8月8日、10月13日、11月6日]

(イ)災害ボランティアセンター運営者研修

[平成29年8月24日]

(ウ)西淀川区社協災害応急対策委員会の開催

[平成29年9月22日]

(エ)大阪市災害ボランティアセンター情報伝達訓練への参加

[平成29年12月7日]

(オ)大阪市老人福祉施設連盟主催防災シンポジウムへの参加

[平成30年2月27日]

⑥防災（減災）への活動支援

(ア)西淀川区一斉避難所開設訓練の見学

[平成29年11月5日]

(イ)福祉避難所合同訓練の企画運営

[平成29年11月29日、12月20日、平成30年1月9日、2月6日
2月14日、2月21日]

⑦福祉教育の充実

小・中学校等で、車いす体験・アイマスク体験及び当事者を交えた学習会を通し、障がい者理解啓発について取り組むと共に、福祉教育に関する物品を広く貸し出し、福祉教育の推進を図った。

(ア) 福祉教育

[平成 29 年 6 月 29 日]

- ・学習教室きらら (25 人) 社会福祉協議会の仕事について

[平成 29 年 9 月 29 日]

- ・御幣島小学校 5 年生 (89 人) 車いす体験及び障がい当事者の講話

[平成 29 年 11 月 15 日]

- ・柏里小学校 4 年生 (51 人) 車いす体験及び障がい当事者の講話

[平成 29 年 11 月 27 日]

- ・佃西小学校 4 年生 (69 人) 車いす体験及び障がい当事者の講話

[平成 30 年 2 月 22 日]

- ・佃中学校 2 年生 (180 人) 視覚障害がい者について知識を深める

[平成 29 年 7 月 23 日]

- ・親子講座 キッズサポーター養成講座(小学生 7 人とその保護者 5 人)

[平成 30 年 2 月 27 日]

- ・大和田小学校 4 年生 (55 名) 認知症サポーター養成講座

(イ) 物品の貸出し

- ・車いす、段差の板等 (8 回)

⑧キャラバン・メイト連絡会の開催

区内における認知症サポーター養成講座の講師役 (ボランティア) のメンバーの連携及び認知症の正しい理解促進を図ることを目的に連絡会を開催した。

- ・連絡会 (7 回)
- ・認知症サポーター養成講座の開催 (21 回)

⑨車いす貸出事業

日常生活において、一時的に車いすが必要となった方に 1 週間以内無料貸し出しを行った。(118 件)

⑩ハチ食品寄付物品払出事業

区内に本社を置く「ハチ食品株式会社」よりレトルト食品を定期的にご寄付いただき、生活困窮者や地域イベントなどに払出を行なっている。

寄付数	払出数
1242 個	81 件

⑪生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金制度の相談窓口としてさまざまな生活課題を抱える人たちに対して、相談支援を行った。

相談・申請受付件数

福祉資金・教育支援資金			総合支援資金		
電話相談	窓口相談	申込書配付	電話相談	相談窓口	申込書配付
536 件	254 件	125 件	27 件	13 件	4 件

3 ボランティア・市民活動センターの運営

(1) ボランティアに関する相談支援及び活動の登録・需給調整

①個人登録、ボランティアグループ登録者数

個人登録数	グループ登録数
229 人	3 2グループ

②ボランティア保険の受付件数

活動保険	行事保険	非営利有償活動団体保険
115 件	186 件	1 件
1,184 人	6,821 人	6 人

③ボランティア需給調整

活動希望	行事支援	施設等支援
20 件	15 件	45 件

④ボランティア相談支援

電話	来所	訪問
502 件	144 件	96 件

(2) ボランティア・NPOグループの支援

①ボラセンGO！連絡会（旧：西淀川区ボランティア・市民活動センター関係団体連絡会）

登録ボランティアグループが集まり、困っていることなどを共有し課題の解決をめざすことを目的に開催。平成 28 年度に把握した「活動の担い手不足」「担い手の集め方（広報）が分からない」といった共通課題の解決に向けて、「第 1 回にしよどがわボランティアエキスポ」の企画運営を行った。（6 回）

②登録グループ活動支援

《登録グループ》(32 グループ) 《グループ化支援》(5 件)

①オカリーナ Hiro	②おはなしボランティアパタポン	③福町なごみクラブ	④にしよどおやこ劇場
⑤サンドイッチ	⑥夢、ゆめ仲間	⑦子ども食堂にしよどくるる	⑧西淀病院ボランティア
⑨コミュニティスタッフ緑化グループ	⑩絵本の会ぼけっと	⑪紫苑の会銭太鼓	⑫ソーイングさざんか
⑬世代間交流絵をめぐらす会	⑭ゆいまーる福ボランティア	⑮NPO 法人にしよどにこネット	⑯スリーファイブ
⑰アロマボランティア RAISE	⑱歌体操サークル	⑲ReMove	⑳ティンカーベル
㉑NPO 法人多文化共生センター大阪	㉒おもちゃ図書館おもちゃぼこ	㉓NPO 法人西淀川子どもセンター	㉔遊楽の会
㉕なかよし会	㉖音訳サークルやまびこ	㉗笑っこ倶楽部	㉘点字サークルひかり
㉙Team カメリア	㉚アンサンブル・ウベボ	㉛さしいろクラブ	㉜乳がん患者と働く場所を考える会
①保育ボランティアサロン	②ちょいボラおやじの会	③エコキャップ洗浄分別ボランティア	④センター情報誌発送ボランティア
⑤センター情報誌編集ボランティア			

(3) ボランティアの養成

①課題（テーマ）別ボランティアグループの組織化

- ・ちよいボラおやじの会「定例会」(6回)
- ・ちよいボラおやじの会「趣味の会」(6回)
- ・保育ボランティアサロン (6回)

②課題（テーマ）別ボランティア講座の開講

- ・男性ボランティア養成講座(5回)
- ・子育て支援ボランティア養成講座(5回)
- ・音訳ボランティア養成講座 (3回)
- ・災害ボランティア養成講座(3回)

(4) ボランティアに関する広報啓発活動

- ・登録の個人ボランティア、グループへセンター情報誌や資料の発送(12回)
- ・JR 御幣島駅構内・西淀川図書館・区内生涯学習関連施設にパンフレットラックを設置
- ・西淀川区社会福祉協議会ホームページに掲載
- ・区社協だよりにボランティア・市民活動センター情報の掲載
- ・区内イベントへの出張窓口として出展
もと歌島橋バスターミナル「にしよどにぎわいイベント」(2回)
西淀川区商店街にぎわい再生事業実行委員会「商店街イベント」(3回)

(5) 新たなネットワークの開拓・構築

- ・にしよどリンク (6回)
- ・交流カフェふくふく (5回)

(6) ボランティア・市民活動センター運営委員会

- ・ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催 (3回)

4 地域と連携した要援護者の見守りネットワークの強化

(1) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

見守り相談室の機能や役割について、地域住民・関係機関等へ周知を図りながら、地域福祉活動支援コーディネーターによる要援護者の把握や見守りネットワークによる専門的な対応を実施した。

機能①「要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備」

行政が保有する要援護者情報を集約し、郵送・訪問により地域団体等への情報提供に係る要援護者名簿の整備を進めていくため、区内 14 地域に地域福祉活動支援

コーディネーターを配置した。

平成29年度は、年2回（9月・3月）において計2,076名に対し、要援護者名簿に係る同意確認のための発送作業を行い、有効回答数(同意・不同意)は733名であった。また、訪問による同意確認は延べ1,684回行い、有効回答数（同意・不同意）は428名であった。

郵送による同意確認（件）		訪問による同意確認（件）	
発送数	2,076	新規訪問	1,684
回答数 (回答率 36%)	733	回答数 (回答率 27%)	428
同意	578	同意	313
不同意	155	不同意	115

《地域への名簿提供》

柏里、野里、歌島、竹島、佃、千舟、大和田、姫里、福、大野百島、出来島地域においてワークショップを開催し、地域活動協議会、民生委員協議会に対し名簿提供を行った。（※川北地域は平成28年度中に提供済み）

機能②「孤立世帯等への専門的対応」

見守り支援ネットワークが、孤独死防止のための要援護者へのアウトリーチや制度の狭間の相談ニーズへの対応等専門的支援を実施した。

相談延べ件数（件）		相談属性内訳（件） ※実数	
訪問による相談	424	要介護・要支援高齢者	426
電話による相談	717	要介護・要支援以外の高齢者	125
来所による相談	222	身体障がい者・児	27
その他	479	知的障がい者・児	9
合計	1,842	精神障がい者・児	19
		発達障がい者・児	0
		難病	2
		引きこもり	7
		ごみ屋敷	1
		生活困窮者	50
		子育て中の保護者	1
		その他（65歳未満、障がいなし）	34
		合計	552

機能③「専門的支援事例紹介」

【概要】「妻の死を機に認知症や経済的な問題が発生した独居高齢者への支援事例」
地域商店より見守り相談室地域福祉活動支援コーディネーター（以下、コーディネーター）へ「店を訪ねる高齢者の様子が以前とは違う。店の前で日中を過ごしている」と相談が入る。見守り相談室の専門職員とコーディネーターにて何度も本人を訪問しながら、生活実態の把握と生活上の課題について支援を開始することとなった。

生活上の課題としては、年金収入通帳などが他者に管理されていることによる経済困窮、長期間の医療未受診、認知症状の悪化による判断能力の低下、親族との疎遠による支援者不在など多くの複合的な課題が見られた。

【結果】本人が安心して暮らすことができるよう生活の基盤となる金銭面の整備、必要な医療や介護サービスの利用を行うことができるように支援し、現在は成年後見人が選任され、社会福祉施設にて生活されている。

【事例のポイント】

- ・ コーディネーターが地域住民という立場を活かし、早期に要援護者の発見につなげることができた。
- ・ 区社協内の各種部門（地域包括支援センター・生活困窮者窓口・見守り相談室など）が専門性を発揮した支援を行うことで速やかな対応を行うことができた。

機能④「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

認知症等による行方不明者の早期発見に向けた事前登録や、捜索に協力できるライフライン事業者や民間事業者などの協力者の開拓を行い、行方不明発生時に協力者へメールによる情報配信を行った。また、29年度より警察署で行方不明者の保護対応をした方のうち、家族等より見守り相談室へ情報提供の申し出があった方について情報の提供が開始された。

- (1) 平成29年度事前登録者 64人（延べ126名）
- (2) 区内在住者配信数 9件（発見件数9件）
 - <発見場所内訳> 広域（市外・府外） 5件
 - 市内 2件
 - 区内 2件

(2) 地域の見守り活動の支援（見守りネット倶楽部）

- ・ 地域の会議等に参画し、見守り活動や、ニーズの早期把握のための仕組みづくりについて提案し、地域住民自らが困りごとを相談し合える地域づくりの推進を図った。
- ・ 地域への要援護者名簿提供と合わせ、地域ごとにワークショップを開催した。ワークショップでは、地域活動協議会や民生委員協議会などの地域で主体的に見守り活動を行う団体に対し、要援護者情報の把握とともに見守り活動の支援として、そのポイントなどの説明を行った。
- ・ 医療・福祉・介護等の専門職に対し、地域における見守りネットワーク強化事業についての事業説明を行い、地域と専門機関との連携に向けた橋渡しを行った。

5 生活困窮者自立相談支援事業（相談支援）（平成29年度）

(1) 相談状況

①新規相談件数

(件)

相談受付総数		303	
内 訳	性別	男性	156
		女性	140
		不明	7

	年齢	～10代	1
		20代	19
		30代	31
		40代	56
		50代	51
		60～64歳	27
		65歳～	56
		不明	62

②相談経路

相談経路	件数
本人（来所）	164
本人（電話・メール）	3
家族・知人（来所）	2
家族・知人（電話・メール）	1
自立相談支援機関が把握	2
関係機関・関係者紹介	67
その他	9

③相談内容

相談内容	件数
病気・けが	14
障がいについて	9
障がい（疑い）について	4
その他メンタルヘルスの課題	15
住まいの不安定について	17
経済的困窮について	65
（多重・過重）債務について	12
家計管理の課題について	4
就職活動が困難なケースについて	23
就職定着が困難なケースについて	13
生活習慣の乱れについて	2
社会的孤立（ニート・引きこもりを含む）について	3
家族関係・家族の問題について	6
中卒・高校中退について	0
ひとり親について	2
外国籍について	0
コミュニケーションが苦手	6
本人の能力課題について（識字・言語・理解等）	0
その他	16

(2) アウトリーチの実施

①相談者等への家庭訪問・同行支援

- ・相談者等への家庭訪問・同行支援 154回
- ・相談者等が同行しない関係機関等訪問 122回

【関係機関先】

民生委員協議会、地域福祉活動連絡会、障がい者地域自立支援協議会、社会福祉施設連絡会、民生委員の自宅、ふれあい喫茶、高齢者食事サービス、学習支援教室きらきら、西淀川インターナショナルコミュニティ他、各連携関係機関など。

②川北地区出張相談会

- ・実施状況：3回（5月11日、10月12日、2月8日）
南西部包括支援センターと連携。包括職員とともに川北地区老人会（おしゃべりの会）の集会に合流してゲームやお話など交流を図りながら困窮事業に関する周知活動を行った。

③講演会・研修会等

- ・6月22日『西淀川区生活困窮者自立支援 広域調整会議』
参加者：保健福祉課福祉グループ、保健センター、医師・薬剤師会、弁護士にしよどにこネット、障がい者相談支援センター、ハローワーク近畿財務局、包括支援センター、社協福祉資金担当
- ・9月22日『西淀川区生活困窮者自立支援連携先研修会』
テーマ：「若者支援の現場から～事例を踏まえて考える」
引きこもりの現状：コネクションズおおさか
- ・12月11日『西淀川区生活困窮者自立支援講演会』
講師：川辺康子（こども食堂ネットワーク関西代表）

（3）就労支援

①相談時の就労状況

現状・希望状況	人数(名)	離職期間	人数(名)
今後、就労予定	4	6か月未満	14
就労している	21	6か月以上1年未満	0
就労しているが転職希望	12	1年以上2年未満	1
無職で就労希望	45	2年以上	8
無職で就労希望せず	10	仕事をしたことがない	0
不明・未回答	0	不明・未回答	48

②就労支援実績

- ・相談受付(相談のみ含む)総数 303件
- ・支援決定(プラン作成)件数 79件 ⇒ 就労支援 47件

	内容	人数(名)
就労支援	初回プラン	45
	再プラン	2

結 果	一般就労開始	31
	中間就労・就労準備	1
	職場定着支援	3
	就職活動開始	0
	就職訓練開始	0

③参考資料

【社会福祉協議会による聞き取り】

(平成 29 年 8 月～平成 30 年 3 月)

相談経路	男性	女性	不明
本人自ら（来所・電話）	50	33	4
区役所・生活保護窓口から	29	23	0
区役所・その他の窓口から	7	5	0
見守り相談室・包括支援センターから	15	11	0
地域住民・民生委員から	1	1	0
チラシ・広報誌から	8	10	1
ハローワーク、その他専門機関から	15	28	1

（４）区民への周知

①チラシ配布実績

【各月別の配布枚数】

(枚)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
165	440	410	50	130	275	1036	1860	620	40	300	0

【配布先】

区内の各種団体や区社会福祉協議会における理事会・評議員会、各地域で実施されている「ふれあい喫茶」「高齢者食事サービス」等の地域活動や、スーパーにチラシ設置を依頼した。

②その他

- ・気軽に相談できるようにイラスト入りなど工夫した三つ折りポスティングチラシを作成した。
- ・見守り相談室との連携の中で地域福祉支援コーディネーターから個別の対象者など必要に応じ配布をお願いしたり、地域のワークショップへ参加しチラシ配布による周知活動を行った。

（５）事業の成果

①相談事例

【介護離職で 20 年近く働いたことがない 50 代の男性のケース】

- ・訪問面談を重ね関係性を築き、家族の状況や本人の気持ちを配慮し、確実な就労の定着を考えてすぐに就労につなげるのではなく、就労準備事業を利用し就労支援を行った。

【家賃を長期滞納していた外国籍の母子家庭のケース】

- ・面談を重ね状況を把握すると、他にも負債を抱えていたため自己破産の手続きを行うために弁護士につなげた。さらに随時募集の市営住宅の情報提供や申請のフォローなどを行い、生活を立て直して困窮生活から抜け出すための支援を行った。

- ②今年度は各介護事業所へ定期的にチラシを配布したことで、ケアマネジャーから直接に相談を受けたケースも見られた。
- ③生活困窮といった課題を通して、障がい福祉・高齢福祉・児童福祉・医療等これまで縦割りになりがちであった分野と横断的な連携を図ることができた。
- ④昨年同様、地域の民生委員やふれあい喫茶、高齢者食事サービス等の活動と連携し、相談者が支援後も地域住民とつながることができるように積極的に努めた。

(6) 今後の課題

潜在的な生活困窮者(長期引きこもり・年金依存者など)に対してアウトリーチを行い自立支援へつなげるために、障がい福祉・高齢福祉・児童福祉・医療などの関係機関と顔の見える関係性づくりに努め、連携の強化を図る。

6 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理サービス、預かりサービスを行った。

		(前年度件数)
・平成 29 年度末 サービス利用件数	86 件	(79 件)
・契約締結件数	19 件	(21 件)
・契約解約件数	12 件	(15 件)
・初回相談受付件数	29 件	(33 件)

①事業実施状況

実利用者人数	認知症高齢者等	41人
	知的障がい者等	23人
	精神障がい者等	20人
	その他	2人
	合 計	86人
利用希望状況（3月末）	認知症高齢者等	1人
	知的障がい者等	1人
	精神障がい者等	0人
	その他	0人
	合 計	2人
研修会・関係会議等への業務説明		0件

②年間個別談援助件数／相談述べ件数 4,937件

相談件数	電話・来所	
	認知症高齢者等	1,018件
	知的障がい者等	671件

	精神障がい者等	842件
	その他	123件
	合 計	2,654件
相談件数	訪問	
	認知症高齢者等	1,008件
	知的障がい者等	551件
	精神障がい者等	629件
	その他	95件
	合 計	2,283件
委任契約締結件数	認知症高齢者等	10件
	知的障がい者等	3件
	精神障がい者等	6件
	その他	0件
	合 計	19件
委任契約終了件数	認知症高齢者等	10件
	知的障がい者等	0件
	精神障がい者等	1件
	その他	1件
	合 計	12件

7 生活支援体制整備事業

介護保険制度では賅うことができない多様な生活支援ニーズに応えるための、多様な主体による生活支援サービスの創出。そして、西淀川区に住まう高齢者がいつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるよう、高齢者自身が主体的に取り組むことができる介護予防の充実を図った。

平成 29 年度は初年度ということもあり、事業を進めるうえで、区内の主となる関係先への事業周知を中心に協力・連携のネットワーク構築を進め、平成 30 年度の協議体会議開催に向けた調整を行った。

(1) 事業周知

- ① 広報用チラシの作成
- ② 西淀川区社協だよりふくふく冬号への紙面掲載
- ③ NN ニュース withTY 冬号への紙面掲載
- ④ 各種関係会議・イベント等への参加
 - (ア) 地域福祉活動連絡会 [平成 29 年 11 月 9 日]
 - (イ) ボランティア・市民活動センター運営委員会 [平成 29 年 11 月 9 日]
 - (ウ) 西淀川区民生委員・児童委員協議会理事会 [平成 29 年 11 月 14 日]

- (エ) 生涯学習関連施設連絡会 [平成 29 年 11 月 22 日]
- (オ) 認知症初期集中支援事業会議 [平成 29 年 12 月 6 日]
- (カ) にしよどりリンク [平成 29 年 12 月 6 日]
- (キ) 健康きらり塾 [平成 29 年 12 月 27 日]
- (ク) 居宅介護支援事業所連絡会 [平成 30 年 1 月 15 日]
- (ケ) 総合相談窓口連絡会 [平成 30 年 1 月 18 日]
- (コ) 医介連携コーディネーター連絡会 [平成 30 年 1 月 18 日]
- (サ) ボラセン GO! 連絡会 [平成 30 年 1 月 19 日]
- (シ) 南西部地域包括支援センター地域ケア会議 [平成 30 年 1 月 30 日]
- (ス) 西淀川区地域包括支援センター地域ケア会議 [平成 30 年 2 月 9 日]
- (セ) 西淀川区社会福祉講演会 [平成 30 年 2 月 24 日]
- (ソ) 西淀川区地域包括支援センター地区診断 [平成 30 年 3 月 9 日]

(2) ネットワークの構築

- ① 協議体準備会の開催
 - (ア) 第 1 回目 [平成 29 年 12 月 28 日]
趣旨説明、今後の流れの説明
 - (イ) 第 2 回目 [平成 30 年 2 月 7 日]
協議体スケジュールイメージ、包括的支援事業課題の整理
課題を踏まえた協議体メンバーの選定
 - (ウ) 第 3 回目 [平成 30 年 3 月 13 日]
平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画

(3) 地域資源の把握・発掘

- ① いきいき百歳体操
 - (ア) 歌島地域 [平成 29 年 12 月 15 日]
 - (イ) 竹島地域 [平成 30 年 1 月 23 日・2 月 6 日]
 - (ウ) いきいき百歳体操リーダー会議 [平成 30 年 2 月 1 日]
 - (エ) 西淀川特別養護老人ホーム [平成 30 年 2 月 1 日]
- ② 大阪市介護予防教室（なにわ元気塾）
 - (ア) 川北地域 [平成 29 年 12 月 21 日]
 - (イ) 野里地域 [平成 30 年 1 月 12 日]
- ③ 南西部地域包括支援センター会議 [平成 30 年 1 月 30 日]
- ④ 家族介護者の会ひまわりの会打ち合わせ [平成 30 年 1 月 31 日]
- ⑤ クオレシニアすまいるセンター見学 [平成 30 年 2 月 16 日、3 月 23 日]
- ⑥ 佃りバーサイド老人会健康講座見学 [平成 30 年 3 月 1 日]
- ⑦ 地域資源リーフレットの作成
[西淀川区生涯学習関連施設連絡会と協力のうえ作成]

8 在宅福祉サービスの運営

(1) 閉じこもり等予防事業（なにわ元気塾）

高齢者の生活空間を広げ、認知機能や生活全般の活性化を図ることを目的として、外出の機会、地域の人との交流の機会を増やすなど自立した活動的な生活を送っていただくことをめざし事業を実施した。

校 区	利用者数	開設回数
柏 里	381人	12回
野 里	121人	12回
歌 島	303人	12回
香 簀	252人	12回
竹 島	123人	12回
佃	290人	12回
大和田	157人	12回
千 舟	118人	12回
姫 里	253人	12回
姫島①	264人	12回
姫島②	59人	7回
福	131人	12回
大野百島	115人	12回
川 北	146人	12回
出来島	215人	12回
合 計	2,928人	175回

(2) 通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）

介護保険サービスとして通所による食事・入浴・送迎・健康チェック・レクリエーション・生活相談等のサービスを提供した。

①開所日 247日

②実績数

要介護状態区分	平成30年3月31日現在 登録者数	年間延利用者数
要支援1	2人	93人
要支援2	4人	343人
要介護1	5人	488人
要介護2	6人	605人
要介護3	2人	439人
要介護4	4人	154人
要介護5	2人	107人

合計	25人	2,229人
食事サービス提供者数		2,204人
入浴サービス利用者数		2,152人

9 地域包括支援センターの運営

地域の高齢者の皆さんが安心して暮らせるために、必要に応じて介護・福祉・保健・医療等のサービスが提供されるように支援した。

西淀川区の人口（住民基本台帳人口データ 当該年度の9月末現在より）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総人口	97,205人	97,077人	97,203人
高齢者人口	23,345人	23,904人	24,253人
高齢化率	24.0%	24.6%	24.9%

西淀川区地域包括支援センター圏域の人口（住民基本台帳データ当該年度の9月末現在より）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総人口	54,886人	54,572人	54,499人
高齢者人口	13,114人	13,393人	13,603人
高齢化率	23.8%	24.5%	25.0%

(1) 総合相談支援および権利擁護業務

地域の高齢者の実態把握や虐待への対応等含む権利擁護等総合的な相談支援を行った。

① 相談実人数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実人員	622人	635人	803人
うち認知症疑い有	199人	198人	222人
訪問による相談実人員	245人	300人	412人

② 相談述べ人数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
延べ相談人数	4,580人	4,750人	5,733人
うち認知症疑い有	2,020人	2,056人	2,409人
訪問	781人	884人	1,206人
電話	3,177人	3,291人	3,845人
来所	407人	420人	573人
その他	201人	155人	109人

③ 相談内容

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
家族・家庭問題	201件	236件	203件
経済・生活問題	1,070件	1,146件	1,138件
介護サービス	1,066件	1,028件	1,483件
介護予防サービス	886件	820件	854件
介護予防・日常生活支援総合事業			328件
介護予防事業	117件	65件	
福祉サービス	116件	195件	440件
保健・医療サービス	365件	537件	610件
虐待	205件	171件	304件
成年後見制度の活用	277件	165件	182件
生きがいづくり	11件	18件	31件
その他	266件	372件	160件

④ 会議開催状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域ケア会議 (個別ケース・ふり返り・課題のまとめ)	42回	29回	51回
サービス利用調整会議 (虐待の判断・支援方針)	32回	36回	58回
ランチ連絡会	18回	14回	12回
地域密着型サービス推進会議	8回	21回	22回
食事サービス運営委員会	12回	12回	
その他ネットワーク構築のための会議	155回	130回	139回
地域との関係づくり	13回	21回	137回

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者の生活を支えるケアマネジャーを支援、また各関係機関とも連携しスキルアップのための研修も開催した。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護支援専門員個別相談件数	1,006件	882件	1,120件
居宅介護支援事業者連絡会	20回	21回	20回
介護支援専門員への研修会	2回	2回	2回

(3) 介護予防のケアマネジメント(要支援1・2)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
新規契約数/月平均	23人	17人	16人
包括作成件数/月平均	143人	63人	61人
一部委託作成件数/月平均	520人	641人	658人

(4) 家族介護支援事業

① ふくふく介護予習スクール テーマ：これだけは知っていききたい介護保険

	内容	参加者
1回目	「おそれないで認知症」	13人
2回目	「プロから学ぶよりよい排泄ケア」	6人
3回目	「はじめまして訪問介護・訪問リハビリです！」	9人

- ② 介護者家族の会「ひまわり」
 ・平均参加者 10人/月 ・新規参加者 12人/年
- ③ 男性介護者の会「ひょうたんの会」
 ・平均参加者 4人/月 ・新規参加者 5人/年

10 老人福祉センターの運営

西淀川区における高齢者福祉の拠点施設として、区役所をはじめ当法人が運営する地域包括支援センター、地域活動支援部門と密接に連携するとともに、区内各種団体からの支援、協力を得ながら、高齢者の生きがいと健康づくり、そして社会参加について必要なサービス・情報を提供した。老人福祉センターでは60歳以上の高齢者を対象に、年間を通じ、健康・生きがいづくりを目的として各種講座を開催し、利用者による自主サークル活動への支援を行い、また、サークル参加者による区内福祉施設でのボランティア活動に対しても支援した。

①利用者数

開館日数	293日
延利用者	29,419人
一日平均利用者	100.4人
団体利用者	2,037人

②年齢別利用者数（団体利用者は除く）

(人)

60～69歳		70～79歳		80歳以上		その他		計		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1,714	3,247	5,155	10,824	2,439	3,888	2	113	9,310	18,072	27,382

③団体利用

団体名	回数(回)	男(人)	女(人)	計(人)
老人クラブ	55	233	504	737
その他	43	811	489	1,300
計	98	1,044	993	2,037

※その他：佃地域活動協議会 等

④各種講座実施状況

事業名	回数(回)	男(人)	女(人)	計(人)
各種教室	22	56	585	641
いちょう学園	4	11	75	86
手作り体験研修会	1	3	113	116
骨盤体操	6	0	148	148

計	33	70	921	991
---	----	----	-----	-----

※各種教室：手作り・干支作り・七宝焼き・折り紙・男の料理教室 等

⑤合同事業実施状況

公的機関、各種団体、NPOと連携・協働した事業

事業名	回数(回)	男(人)	女(人)	計(人)	備考
ふれあいフェスティバル(2日)	2	131	554	685	老人クラブ
歯科講演会	1	3	36	39	歯科医師会
おとなのてらこや(認知症予防)	12	0	359	359	NPO
計	14	134	949	1,083	

※その他、大阪市保健所との連携による結核健診 等

⑥世代間交流事業実施状況

利用者によるボランティア活動、区事業への連携。

事業名	回数(回)	男(人)	女(人)	計(人)
こども囲碁教室	65	168	127	295
に～よん文庫(区事業)	66	83	179	262
計	131	251	306	557

※その他、淀商業高校、地元小学児童との交流も行った。

⑦定例・特別行事実施状況

利用者へ相互交流とサークル活動発表の場を提供した。

事業名	回数(回)	男(人)	女(人)	計(人)
いきいき百歳体操	87	34	1,803	1,837
お楽しみ会	3	16	147	163
お誕生会	3	2	50	52
その他	205	570	2,775	3,345
計	298	622	4,775	5,397

※その他：年忘れ会・春の歩こう会・社会見学・囲碁将棋大会等を行った。

⑧サークル活動状況

生きがいと健康づくりのため、全23サークルが活動し交流した。

サークル名	回数(回)	男(人)	女(人)	計(人)
民踊	29	0	460	460
フラダンス	48	0	1,277	1,277
カラオケ	48	184	1,465	1,649
上記以外のサークル	781	2,000	13,552	15,552

計	906	2,184	16,754	18,938
---	-----	-------	--------	--------

※上記以外のサークル：歌体操・編物・歩こう会・生花・楽しい歌広場・楽謡会・水彩画・カメラ・コーラス・詩吟・習字・手話・俳句・パッチワーク・フォークダンス・ペン習字・太極拳・リズム体操・歌声喫茶・3B体操

11 子ども・子育てプラザの管理運営

「子育て活動支援事業（児童健全育成事業、地域関連事業含む）」と「地域子育て支援拠点（つどいの広場）事業」を通じて、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図った。

(1) 子育て活動支援事業

①子育て情報の収集、管理、提供

- ・プラザだよりの発行 87, 892部 配布先89ヶ所、のべ985ヶ所（全て手渡し）
- ・ホームページを随時更新

②地域の自主的な子育て活動への支援

- ・子育て支援ボランティア養成講座 4回1クール のべ86人
- ・ファミサポ子育て支援ボランティア講座（24時間講座） 受講3人、うち登録2人
- ・子育てサロン・サークル及び支援者サークルへの後方支援 13回 110人
- ・大型遊具の貸し出し 2回

③子育て中の親子の支援

- ・自由開放 開設日数 305日 3,881人
- ・子育て支援講座 28事業 73回 2,858人
 ※ベビーマッサージ、リラックスヨガ、親子でお菓子作り、公園であそぼう、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、パパの子育て支援事業、プレママ・プレパパ講座 等
- ・相談件数 49件

④児童健全育成

- ・自由遊び 開設日数 305日 7,670人
- ・体験活動等 13事業 42回 786人
 ※おやつ作り教室、工場見学、ミニ夏まつり、ハロウィンパーティー、子どもボランティア体験、クリスマス会、講座「今の子どもたちについて考えませんか?」、出前講座「ドッジボール大会」 等

⑤地域関連事業

- ・姫里地域お花見会、縁日、区民まつり等 4事業 1,011人

⑥区事業

- ・絵本展への協力、地域子育てサロンへの協力、に～よん文庫への協力
 211回 4,179人

⑦一般利用

- ・登録団体：子育てサークル0団体、一般グループ12団体、大阪市利用1団体
399回 4,819人

<登録者数>

乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	合計
957人	733人	425人	80人	5人	2,200人

(2) ファミリー・サポート・センター事業

「大阪市ファミリー・サポート・センター西淀川支部」として、子どもを預けたい人と預かりたい人が会員登録し、仕事や急用時に子どもを預け、互いに子育てを支え合う活動支援事業を行った。

①サブリーダー会議

- ・「平成29年度事業内容と会報について」、「学習会、交流会について」等 4回

②交流会・学習会

- ・「3B体操」、「救急のお話」など 4回 52人

③会員数と活動件数（平成30年3月現在）

	依頼会員数	提供会員数	両方会員数	ペア数	活動件数
西淀川支部	103人	43人	8人	152組	423件

(3) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

0歳～おおむね3歳未満の子どもと保護者を対象に、週5日、交流の場としてお部屋を開放し、講習や相談業務等を行った。

①交流の場の提供と促進

- ・開設日数 249日
- ・参加人数 12,780人

②相談と援助

- ・相談件数 419件

③子育て支援講習

- ・実施回数 4事業 43回
- ・参加人数 1,541人
- ※出前講座「ミニつどいの広場」、お誕生日かい、保健師さん相談会 等

④ブックスタート

- ・実施回数 24回
- ・参加人数 322人